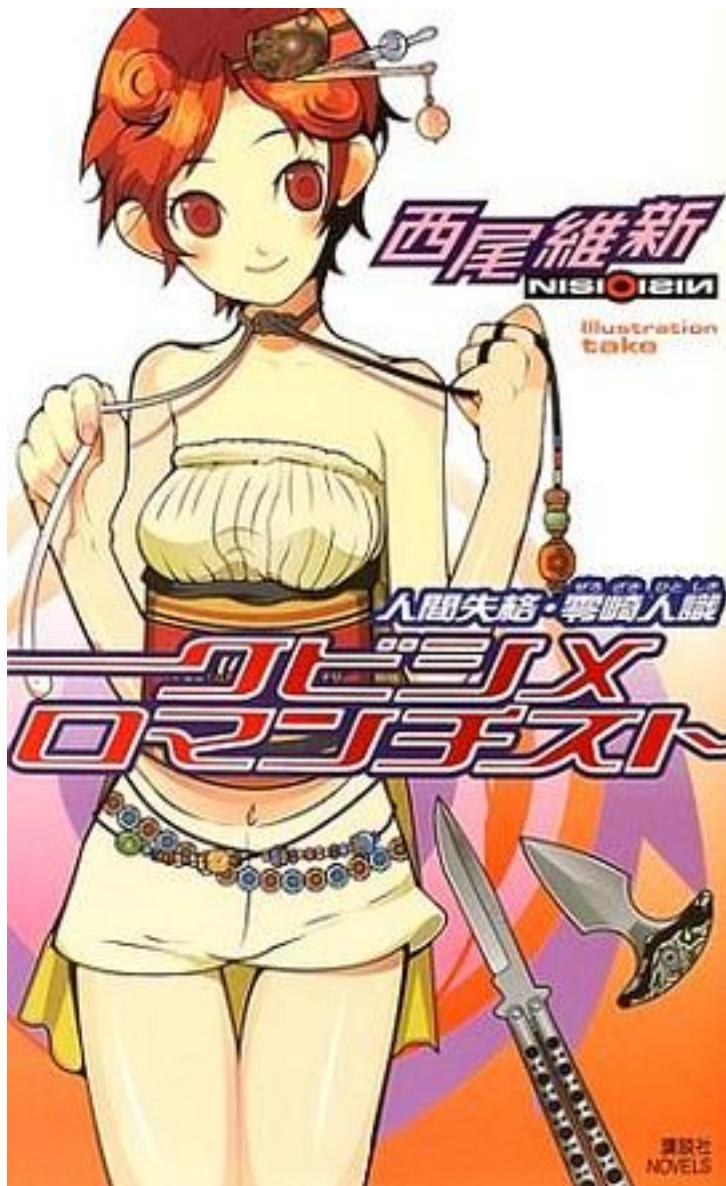


クビシメロマンチスト



[クビシメロマンチスト 下载链接1](#)

著者:西尾 維新

出版者:講談社

出版时间:2008-6-13

装帧:文庫

isbn:9784062760775

『戯言シリーズ』の2作目、02年05月のノベルスの文庫化です。前作から約1ヶ月後、主人公の通う大学や街が主な舞台となり、やや外側に居た前作とは異なり、彼を中心に物語がまわります。また、ミステリとしてもますますだった前作とは様子も違い、どちらかと言えば、事件は物語のためのきっかけ程度の印象で、犯人やトリックというよりは、動機や心情の面が強く出ています。そのため、ハッキリ明かされないままの『謎のメッセージ』や、それまでをひっくり返すウソ（叙述の類ではない）のセリフなど、ミステリ目線からはじめに読むと、少し不満が残るかもしれません。いくつか「おっ」と、思わせられるところもあるにはあるのですが…。ただ、登場人物の心理が嫌悪感を抱きそうなほど深く描かれ、その歪んだ動機や人が崩れていくあたりはエグくも読みどころ。主人公の冷たさばかりが目立ったクラスメイトとのやり取りでも、真相が語られたあとでは、また違った印象を抱くのではと思います。そんな中、主人公が見せる暖かな感情が一瞬とはいえ印象深く、そこから一気に引き落とされるような結末はなんとも言いがたく、締めに綴られたシンプルな英語のメッセージが苦い余韻を増します。ほかにも、過去への意味深な思いや暗い未来を暗示する言葉など、前作同様に詳細は語られませんが、まだまだ広がっていきそうです。ノベルス版との違いは、表紙、扉絵、アトガキ、表紙袖の口上で、文庫版オリジナルのしおりとカラー扉絵はサブタイトルの少年くん。加筆・修正の類は、文庫化では極力おこなわないスタンスだそうです。なお、先の少年くんをメインに据えた新作が四部作で予定されており、08年08月の『メフィスト』誌から先行掲載、書籍化されることです。

作者紹介:

西尾 維新（にしお いしん、1981年 - ）は、日本の作家。男性。ミステリーやライトノベルに属する作品を、主に著している。立命館大学政策科学部中退。2002年に『クビキリサイクル』で、第23回メフィスト賞を弱冠20歳で受賞しデビュー。同作の主人公を語り手とする『戯言シリーズ』で主に若年層に高い人気を博し、『このライトノベルがすごい!2006』において1位、『このライトノベルがすごい!2007』でも3位にランクインした。文芸誌『ファウスト』で活躍し、笠井潔、森博嗣、京極夏彦、清涼院流水、上遠野浩平らに強い影響を受けたことを同誌面上にて公言している。また、乙一、佐藤友哉、奈須きのこら『メフィスト』や『ファウスト』の若手執筆陣との友流がある。後書きは近況報告や関係者への礼に終始することの多いライトノベル作家には珍しく、メッセージ性の強いものを多く書く。これは彼が尊敬し影響を受けたと公言して止まない作家達のスタイルに良く似ている。趣味は、旅とその行った先で「本屋巡り」をすること。デビュー当時20歳だったこともあり、キャッチコピーは「京都の二十歳、西尾維新」だった。なお、西尾維新というペンネームは、ローマ字で書くと「NISIOISIN」であり、Oを中心に点対称となっており、また回文でもある。

竹（たけ、1983年 - ）は、女性のイラストレーター。戯言シリーズの挿絵など多くの作品を手がける。

目录:

[クビシメロマンチスト 下载链接1](#)

标签

轻小说

西尾維新

西尾维新

日本

戏言系列

零崎各種系列……

戏言

輕小說

评论

最后真的……

杀人鬼的倒霉身高令人不满

哦哦巫女子

换了封面又怎样？

哦呀

[クビシメロマンチスト](#) [下载链接1](#)

书评

初步总结了一下截至目前卷中的阿伊的性格描述：被扳成右撇子的左撇子。对别人不会有讨厌或憎恨这种积极的情绪。随波逐流。讨厌念书，但以此为逃避现实的手段。自我否定。无法确定自身生存价值。不自觉地渴望别人的不幸。以否定情绪由己度人。现实虚幻感。性格空洞，...

【太宰治：人间失格】 人间失格，意为丧失为人的资格

出自太宰治的同名小说『人间失格』亦是一本自传体式的小说 全书极度颓废、绝望
小说主角叶藏是个怪异的存在 不懂得人类正常的感觉 无法感受喜悦，也无法感受悲伤
叶藏对这样的自己恐惧 于是假装喜悦，假装悲伤 假装自己...

巫女子很可爱。西尾杀掉她很残忍。但这也是没有办法的事，因为巫女子惹人怜爱就在于她是依附者的可爱类型。巫女子杀人的行为只是情感的条件反射：对自己喜欢的人抱持着不安与嫉妒，为了自己的精神安定而去杀人。这里面意志这种成分有多少呢？说不定，连杀人犯都算不上啊，巫女...

我发现我五星给太多了，但是因为之前评的书影音标准都这样现在给低又有点不公平。
(想太多)
西尾的戏言是他书里最喜欢的一系列，但是看到出梦的故事完结（后面实在懒得看）差不多也对这个作者出坑了。无意义的排比太多，种种思辨冗长。虽然日系小说的特点就是描写细腻以小见大...

[クビシメロマンチスト 下载链接1](#)